

TIATのインナーブランディングプロジェクトが 「レッド・ドット・アワード」を受賞

～ターミナル内の活動が 世界三大デザイン賞のひとつに入賞～



従業員通路での空間コミュニケーション。「WE ARE TOKYO」の掛け声のもと、従業員が前へ進んでいく連続的な写真を採用し、日本の玄関口である東京を代表する空港となるという意味を表しています。天井の「WE ARE TOKYO」の文字は、見る角度によって立体感を持つ視覚的な仕掛けも施されています。

羽田空港国際線旅客ターミナルは、世界的なブランドコンサルティング会社である（株）インターブランドジャパン (<http://interbrandjapan.com>) に委託し、取り組んだ インナーブランディング・プロジェクト「WE ARE TOKYO」の空間コミュニケーションについて、ドイツの国際デザイン賞「レッド・ドット・アワード」を受賞しました。

レッド・ドット・アワードとは、1955年から続く世界的なデザイン賞で、ドイツ「iF デザイン賞」、アメリカ「インターナショナル・デザイン・エクセレンス賞」と並び、世界三大デザイン賞のひとつとされています。プロダクトデザイン、コミュニケーションデザイン、コンセプトデザインの3部門の中で、「WE ARE TOKYO」の空間コミュニケーションは、コミュニケーションデザイン部門での受賞となりました。同部門は、2016年は世界46カ国の企業、エージェンシー、デザイナーから応募が寄せられ、そのうち0.8%のプロジェクト作品・製品のみが受賞に至っています。最高賞であるグランプリは、11月4日にベルリンで行われるアワードセレモニーで発表されます。

このブランディングプロジェクト「WE ARE TOKYO」は、羽田空港が目指すブランドの姿をターミナル従業員に浸透させることを目的とした、エンゲージメントの取り組みです。2020年に向けて、海外からのお客様を迎えるにふさわしい空港を目指し、ターミナルで働く全ての人々を対象として、ブランドコンセプトおよびメッセージの策定と、参加型のイベントやワークショップ・空間コミュニケーションをはじめとするターミナル従業員のエンゲージメントの実施により、羽田空港ブランドの理解・浸透、一体感の醸成、コミュニケーションの活性化を図っています。



reddot award 2016
winner